

# 理工系分野における 女性活躍の推進に向けて

2021年経済協力開発機構原子力機関(OECD/NEA)では、世界32か国の原子力分野で働く女性を対象としたアンケート調査を行うと共に、17か国の原子力関係96機関から女性比率を定量的に調査しました。その結果、女性比率は世界平均24.9%でした(日本15.4%)。

OECD閣僚理事会はこの報告を受け、原子力分野の女性を増やし、リーダーを育成し、この分野の女性の貢献を強化するように、原子力の魅力を伝えて女性を引きつけるAttract、原子力分野で働いている女性をエンカレッジし支援するRetain、そして原子力分野でのリーダーとなる女性を育成するAdvanceを柱とした勧告を、世界に向けて発表しました。

また、国際原子力機関(IAEA)では、働く若手女性向けのリーゼ・マイトナープログラムや女子大学生向けのマリー・キュリー奨学金プログラムなどを世界的に展開し、女性育成に乗り出しています。日本もOECD/NEAやIAEAと協力して、原子力分野で、より女性が活躍できるよう動き出しました。

福井大学は原子力関連機関が集積する地域特性を活用し、国内外の大学や研究機関との連携により原子力分野の人材育成に取り組んでおり、原子力分野に女性を増やす世界的な試み等をご紹介いただきながら、女性活躍推進について考えます。



■開催日時

令和6年 12月9日(月)  
15:30~17:00

Web開催  
[Webex]

■対象

教職員、学生、一般の方など、どなたでも  
ご参加いただけます。  
※参加無料・事前申込制

■申込方法

QRコード、またはダイバーシティ推進センターのHPにアクセスし、  
参加申込フォームに必要事項をご記入ください。  
聴講用URLなどを申込のメールアドレス宛にお送りします。

●参加申込フォームアドレス  
<https://forms.gle/rqCEMEzfTNQiPHcv7>



■プログラム

- 15:20~ 入室開始
- 15:35~15:40 開会挨拶  
(ダイバーシティ推進センター長 末 信一朗)
- 15:40~16:40 講演
- 16:40~16:50 質疑応答
- 16:50~16:55 閉会挨拶  
(ダイバーシティ推進センター副センター長 磯見 智恵)

演題

## 原子力分野に女性を増やす 世界的な試み

—なぜ原子力分野に女性が必要なのか—

講演  
講師 岡田 往子氏

内閣府原子力委員会委員、  
東京都市大学理工学部客員教授



プロフィール:1980年 日本大学農獣医学部水産学科卒業、1981年 武蔵工業大学原子力研究所技術職員、1994年 千葉大学博士(理学)取得、1998年 武蔵工業大学工学部エネルギー基礎工学科講師、2003年 同 工学部環境エネルギー工学科講師、2008年 同 工学部原子力安全工学科准教授、2010年 東京都市大学工学部准教授、2012年 同 男女共同参画室室長(兼任)、2020年 同 理工学部客員准教授、2022年 内閣府原子力委員会委員(非常勤)、2023年 東京都市大学理工学部客員教授